

# 研究協力のお願

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

頭頸部扁平上皮癌の骨浸潤様式と TIMP1 遺伝子の関連性の検討

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2014年4月1日から2025年4月30日に昭和医科大学病院頭頸部腫瘍センターで顎骨含む腫瘍切除を受けた患者さん。

## 2. 研究目的・方法

### 【背景】

頭頸部がんのひとつである扁平上皮癌はしばしば、骨内へと浸潤します。この骨内へのがんの浸潤における研究は、がんそのものの性質の解析が主に行われています。一方で、骨の表面に存在する骨膜が、がんの骨内への浸潤に抵抗性を示す可能性が最近示されました。その骨膜の生体を守ろうとする反応にはTIMP1というタンパク質が重要であることがわかっています。

### 【目的】

本研究の目的は、頭頸部扁平上皮癌の骨内への浸潤に、TIMP1がどのように関与しているのか明らかにすることです。

### 【方法】

昭和医科大学病院頭頸部腫瘍センターで顎骨含む腫瘍切除を受けた患者さんの情報および切除組織を用いて解析を行います。切除組織において、がんが骨内に浸潤し得ている箇所を浸潤していない箇所で、TIMP1がどれくらい認められるかを検討し、どのような患者さんや癌の性質と関与しているのかを明らかにします。

### 【意義】

本研究の結果によっては、頭頸部扁平上皮癌に対する新しい薬剤の開発に貢献できる可能性があります。

## 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2029年3月31日まで。

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテや画像を用いての調査

(1) 背景：年齢、性別、BMI、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、生検所見

(2) 頭頸部扁平上皮癌に関する因子：部位、薬剤使用歴、病期期間、ステージ分類、術前治療

(3) 画像検査：パノラマ X 線写真、CT、MRI

(4) 血液検査：WBC、WBC 分画、RBC、Hb、AST、ALT、ALP、GTP、TB、TP、Alb、BUN、Cre、SCC

手術中を含めた周術期の調査

(1) 手術方法

(2) 術中所見、術後併発症

(3) 手術時間・出血量

検体検査：検体を用いて研究室で行われます。組織やたんぱく質、遺伝子などの解析を行います。

## 5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

## 6．研究組織

研究責任者 昭和医科大学歯学部口腔生化学 塚崎雅之

研究分担者 昭和医科大学歯科病院顎顔面口腔外科 大場誠悟

昭和医科大学病院頭頸部腫瘍センター 嶋根俊和

昭和医科大学病院頭頸部腫瘍センター 齊藤芳郎

昭和医科大学歯学部口腔生化学 中村和貴

昭和医科大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門 橋本有希子

## 7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学歯科病院顎顔面口腔外科 氏名：大場誠悟

住所：大田区北千束 2-1-1

電話番号：070-6406-1531